



# まつえだより

# 2月



今月のまつえだよりは院内でもご協力を頂いているマスクについてです！いつもありがとうございます。



今月号はまつえだ歯科スタッフが毎年健康診断でお世話になっております八田内科医院さんのニュースレターに記載されているマスクについての記事がとても興味深いものだったので皆様にもお知らせさせていただきます。



■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50% <sup>*2</sup>	80%	90% <sup>*2</sup>
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65% <sup>*2</sup>	60-70% <sup>*2</sup>	小さな飛沫に対しては効果なし(エアロゾルは防げない)	

●実験 (マスクは厚生労働省が示す正しい着用方法にもとづいています。)  
さまざまな素材のマスクを着用した人頭モデルにミスト生成装置を接続し、飛沫の飛散状況をレーザー光を用いて可視化、カウントしました。吸い込み時の計測は実際に人がマスクを着用。飛沫の直径は、0.3μm(小さな飛沫)から200μm(大きな飛沫)まで計算しています。  
●結果  
吐き出し飛沫量は不織布、布ともに8割が捕集されます。  
吸い込み:不織布マスク着用時、マスクと顔に隙間がある場合でも上気道(鼻から鼻腔、鼻咽腔、咽喉、喉頭)への吸引飛沫量を1/3にすることができます。フェイスシールドにおいては、大きな飛沫(50μm以上の水滴)については捕集効果が見込めるが、エアロゾルはほぼ漏れてしまう。

マスクは、自分自身の感染を予防する効果より、周囲の人に感染させるのを防ぐのに効果的なものです。マスクにも様々な種類があります。ウレタンマスクや布マスクは不織布マスクと比較すると、小さな飛沫がかなりマスクを通り抜けているそうです!!

一方不織布マスクは通気性が悪く鼻の周りから上へもれますが、布マスクはしっかりつけていれば漏れは少ない利点があります。

ウレタンマスクは、通過も漏れも多く性能が劣り、不織布マスクでも、布マスクより性能が悪いものもあり注意が必要だそうです。自分に合った良いマスクを選びましょう。また、『口の中の汚さ』と『感染症の重症化リスク』は、研究で明らかになっています。プロのおそうじ、歯磨きは大変重要です!!



しっかりと行い健康に気をつけましょう!!



バレンタイン フェア  
2月1日~14日迄

☎075-711-8241  
八三司

